

001 旧石器文化

<日本列島と日本人>

◇第3紀…人類の誕生

◇第4紀…更新世

<旧石器時代>

〔地質学〕更新世

〔気候学〕氷河時代

〔考古学〕旧石器時代

◇大型動物の渡来

(大陸と陸続き)

北からマンモス

ヘラジカ

南からナウマンゾウ

オオツノジカ

◇人類の渡来

日本で出土した人骨は

すべて新人段階

静岡の浜北人

沖縄の港川人

〃 山下町洞人

二 旧石器時代

石を打ちかいた打製石器

◎群馬県の岩宿遺跡

相沢忠洋が

関東ローム層から発見

◎長野県の野尻湖遺跡

→人骨とナウマンゾウの骨

◇旧石器時代人の生活

大型動物の狩猟・採集生活

- 尖頭器を棒の先につけた石槍を使用
- ナイフ形石器を使用
- 簡単なテント式住居
- 一時的に洞穴

(問1)なぜ旧石器時代人は定住しなかったのだろうか。

◇中石器時代(旧石器時代末)

精巧な打製石器の細石器

(マイクロリス)を使用。

〔旧石器文化の確認テスト〕

(1)今から1万年前まで続いていた大陸と陸続きの時代を、地質学上〔更新世〕という。

(2)旧石器文化では〔打製石器〕が用いられた。

(3)人骨とナウマンゾウの化石がいっしょに出土した場所は〔野尻湖遺跡〕である。